



2022年度後期号

次のステージに向けて



校長 小川 政博

令和5年3月1日、3年生生徒、保護者の皆様、そして白老東高校令和4年度教職員、それぞれにとつての大きな節目の日を迎えました。

季節に四季があるように、人生においてもいくつものステージがあります。特に、これまでお子様の成長を生活の中心として、山あり谷ありの日々を、忍耐強く、休むことなく続けてこられた卒業生の保護者の皆様におかれましては、感動や喜びとともに、開放感や喪失感さえも感じられたのではないのでしょうか。

この3年間は想定外のコロナ禍にあつて、通例通りのPTA活動とはならない中、本校における学びの充実に向けた日常的なご協力を賜りましたこと、衷心より感謝申し上げます。この4月からの新たな季節においても、立ち位置に距離はできませんが、白東PTA卒業生として本校への応援をよろしくお願い致します。

さて、卒業式での式辞でお話ししましたが、本校の校章、一見幾何学的なデザインは「自ら未来をきり拓き、前向きに努力する若者」の姿をイメージ

したものです。中央には「かがり火」を表す丸い部分、その周りを外側へ拓き、羽ばたくかのような翼が描かれています。高校生活とは、まさにこの校章が示すように、生命力を燃やしなから、想定外のできごとを乗り越え、未来を探して羽ばたこうと、手さぐりで、もがき続ける日々といえます。

先日高校生活に終わりを告げた卒業生たちは、高校入学とともに新型コロナウイルスパンデミック。長期にわたる臨時休校や集団活動の中止、部活動や外出の自粛等、多くが失われていく中、生きていくため、社会を活かし続けるための「新たな誕生」に順応しようとして、もがき続けました。そして、マスク生活、顔が、表情よく分からずとも、相手の気持ちを探り、人間関係をつなぎ止めるように、あがきながら、ゴールまで歩みを止めることなくたどり着きました。「校章」が示すとおり、「未来をきり拓いた」この三年間で、人間的に大きく成長を遂げていることでしょう。

卒業生諸君、豊かな自然と心温かな人々に囲まれ、人間性を育んだ高校での学びは、今後の人生を生き抜く上での大きな糧となり、一生の財産となつたはずです。これから大切なことは、それぞれが進んだ道で、経験を生かしながらどう行動し、何を為すかということです。「人の運命はその時どきの選択でどうにも変えることができる」。自分の良さと向き合い、勇気を持って「選択」し、焦らず一歩一歩着実に歩んで欲しいと願っています。卒業生諸君の洋々たる前途に期待します。

第34回 卒業式

卒業生63名

去る3月1日(水)本校体育館にて卒業式が行われました。皆勤賞、精勤賞、成績優秀賞がそれぞれ授与されました。

【皆勤賞】

3年A組
3年B組

高橋 林 鎌 牧 山
祐紀 元 朔 太
光 朗 太

【精勤賞】

3年A組

加藤 龍 藤 村 渡 小 後 竹 山 渡 渡
平 川 上 辺 谷 藤 花 澤 邊 辺 部
千 海 一 祐 健 藍 悠 一 景 莉 海
敏 時 斗 己 心 李 来 輝 太 央 斗

【成績優秀賞】

3年A組
3年B組

櫻井 藤 渡 鎌 竹 牧
川 井 邊 田 花 野
凛 秤 陽 朔 悠
佳 斗 菜 朗 来 光

祝 辞

北海道白老東高等学校PTA

会長 戸田 克利



PTAを代表いたしましたし、一言ご挨拶させていただきます。

みなさん、本日はご卒業おめでとうございます。また、保護者のみなさんには、お子様が立派に成長され、今日の日を迎えられることをお祝い申し上げます。

そして、校長先生はじめ先生方におかれましては、生徒たちをここまで温かく、時に厳しく導いてくださったこと、とお礼申し上げます。

この3年間はコロナ禍のためマスク着用での高校生活であり、苦労されたことも多かったことでしょう。

みなさんは、この白老東高校で3年間学ばれ、社会で活躍するために必要な知識や技術を身につけてこられたと思います。高校では、保護者や周囲の大人が見守つてくれる中で生活があり、それは時に不自由さを感じさせるものでもあつたかもしれませんが、これから子供扱いされ

ません。自分の意志が尊重され、選べる幅が広がる反面、責任もまた大きくなります。若いみなさんで、さまざまな困難や悩み、ぶつかることもあつても、智恵を絞って行動を起こす。乗り越えてほしいです。こう言う又何かも自分でやらなければならぬと、気が重くなってしまうかもしれませんが、人間は一人です。周囲の人は協力があり、こともまた、選択の一つです。今ここに至るまで、たくさんの人たちと関係を築いてきたはず。みなさんの成長を促し、見守り続けてくれた保護者の方や、導いてくださった先生方、友情を築いてきた同級生や、先輩、後輩、もうすぐ、地域の方もそう、健全な姿勢で頼られることも、大人として求められるスキルです。もちろん、周りの方が困っているから、自分の能力を最大限に生かして、手をさしのげてあげたい。私はみなさんが自分立って責任を持つよう、自分立って大人へと、周囲の方々と良好な関係をつくり出す社会で活躍するよう願っています。最後に、卒業生ですが、PTAとして、卒業生のみならず、一人が輝かしい未来へ羽ばたいていくことを願っています。そして、私の挨拶と致しました。

卒業おめでとう!





後期生徒会執行部



- ・活動課題
生徒の意見も取り入れ、活動の幅を広げる
- ・活動方針
新たなことに挑戦し、活動の幅を広げる
- ・一念通天
スローガン

会 長	佐藤 将斗	2 A
副 会 長	永尾 芽以	2 B
書 記	成田 初音	1 B
	渡邊 花音	2 B
	林 海良	1 A
会 計	三上 麻里	2 B
	新井 愛璃	1 A
	堀部 京華	1 B
風紀専門委員長	宮本 雪叶	1 B
体育専門委員長	八木 百夏	1 A
保健専門委員長	作井 春愛	2 A
文化専門委員長	菅田 響	2 B

二学年 地域探究感想

「白老町ロードマップ
づくり」活動を振り返って

二年A組 中本 結葉

今回の総合探究の時間では、ロードマップ作成の過程でインタビュー活動を行いました。改めて「白老町」を歩くことで、より深く町を知ることができたと思います。実際に「マザーズ」に行ったらときには、お店の方は一つ一つ丁寧に質問に答えてくださり、より一層ロードマップ作りが力が入ることができました。

私たちが調べたお店を、同じように取り上げているグループはいくつかありましたが、違う視点でお店を紹介していた、他のグループの発表を聞く中でも発見がたくさんありました。知らなかったお店はもちろん、知っているお店の商品やおすすりメニューも新たに知ることができました。

発表を聞いてくれた一年生、二年生、先生方が、少しでも「行ってみようかな」と思ってくれたら嬉しいです。今回の活動で、いつもの学校に向かう通学路にもたくさんのお店やホテルがあることを知ることができ、視野が広がりました。「白老町」についての知識が増え、とても良い経験になりました。

一学年 地域探究感想

「地域探究を終えて」

一年A組 大島 彩楓

今回の地域探究を通して、たくさん地域の人たちの話を聞いて「白老」について詳しく知ることができました。また、話を聞くだけでなく、実際に見学に行ったりできて良かったです。「ルーツ&アーツ」の見学では、様々な作品を見て、不思議な作品や面白い作品などがあって、何を表しているのだろうと考えることが楽しかったです。

「ウレシバの杜」の見学では、木の名前や種類を教えるのも面白い、今まで知らなかった木の名前やその木のアイヌ語の名前や意味が分かりとても勉強になりました。普段あまり木などの自然をみる機会がなかったが、これからは少しの時間でも自然に触れていきたいと思いました。

地域探究発表会では、コラボ企画を考えて発表するために、班の人たちと協力してスライドを作ったり、発表原稿を考えたりできたとおもいます。写真やイラストを入れて、見る人が分かるように工夫しました。発表練習

を繰り返して改善点などを見つけて、より良いスライドが出来たと思います。たくさんさんの団体の方の話を聞いて、色々なことに挑戦していました。そして「白老」についてもっと知りたいたいと思いました。これからどうしたら「白老」が元々思っていたのかを考えてみたいと思いました。



「一年間をとおして」

一年B組 堀 柊輝

私は今回の地域探究で白老を盛り上げるためにコラボ企画を班員で話し合い、プレゼンの内容についてどうしたらより良い企画になるか、発表をどう工夫すれば見やすく、わかりやすくできるかなど、様々な工夫を考えてきた中で「どうすれば白老に来て人に楽しんでもらえるのか」「PRするためにはどこどこをコラボすればよいか」などについて班員たちと話し合いました。その中で一人ひとりが各自の意見を出し、スライドの作成時もそれぞれ役割を意識し、班員全員が一丸となり取り組むことができたのがとても良かったです。特に企画について話し合うときに、町で活動している人たちがどのようになっているのかなど深い話ができることは今後のためになることだと思います。

他の班の発表を見て、コラボ企画の立て方に感心したり、新しい形の発表の形に驚いたりしました。他の班の発表からも多くのことを学ぶことができ、地域探究に対する意欲が高まりました。これからは白老町を盛り上げるために一人ひとりが白老東高校の生徒だという

自覚を持ち、盛り上げるためにしなければいけないという気持ちになりました。白老の知名度を上げるために情報を発信したり、自分たちでできることを一つずつしていかうと思いました。

「一年間をとおして」

一年B組 成田 初音

私はこの地域探究を通して、様々なことを学ぶことができました。

私はこの白老町にずっと住んでいますが、いつも静かで何も無いつまらない町だと思っていました。しかし、この町をもっと発展させようと頑張っている人がいて、その人たちのおかげで現在は少しずつ発展していつかいるというところを知りました。対話学習を通して、今まで自分が知らなかった白老町の良さ、お店を知ることができたことも良かったです。まだ、私が知らないことがいっぱいあると気づかされました。

今回は、グループの皆でコラボについて考えました。コラボを考えることはとても難しく大変でした。しかし、私たちは、山田さん、若山さん、安田さんの三人のコラボを考えました。理由は、私が白老町の自然が多いところが好きだからです。そのた

め、この三人で今ある白老の自然を使ったコラボをやりたいです。「サップ」というものを初めて聞き、さらにそれをポロト湖で行っているということも知り、白老にも色々なことが体験できる場所があるということを知ることができたことはとてもためになりました。グループの人たちと協力してスライドを作るのも大変でしたが、協力することがにより、一人では作ることができないものができた満足しています。

私は、今回の活動を通して、白老のことを好きになり、新しいことも知ることができて良かったです。これからも白老町を知っている人が増え、みんなが楽しめる場所になってくれると白老町民としてもうれしいです。





令和4年度 進路決定状況

【就職】

組織管内企業	男	女	計
日本製鉄株式会社 北日本製鉄所 聖地地区(鉄鋼製造)	1	1	2
野口観光ホテルプロフェッショナル学院(総合調理学科)	1	1	2
野口観光ホテルプロフェッショナル学院(総合ホテル学科)	1	1	2
株式会社 三星(製造)	1	1	2
株式会社 ヤマダホールディングス(家電販売)	1	1	2
株式会社 進興工業(現場施工)	1	1	2
ライラック・フーズ 株式会社(食品製造員)	2	2	4
社会福祉法人 希望の里(生活支援員)	1	1	2
日本製紙白老サポート 株式会社(構内委員)	1	1	2
王子サーモン 株式会社(製造職)	1	1	2
社会福祉法人 緑陽会 みどりの苑(介護職員)	1	1	2
北興化工機株式会社(製造職)	1	1	2
株式会社 コメリ(販売職)	1	1	2
共栄重車株式会社(自動車整備)	1	1	2
王子製紙株式会社(製造職)	1	1	2
三井物産株式会社(施工管理)	2	2	4
北海道エネルギー株式会社(サービスステーションスタッフ)	1	1	2
東芝電材マーケティング株式会社(営業職)	1	1	2
ホクト株式会社 苫小牧のこセンター(生産職)	1	1	2
ヤマト運輸株式会社 千歳支店(セールスドライバー)	1	1	2
株式会社 フジタコーポレーション(販売)	1	1	2
宗教法人 樟前山神社(巫女)	1	1	2
株式会社 山崎左官工業所(技術職)	1	1	2
株式会社 ジェービーシー 苫小牧製造所(技術職)	1	1	2
北海道コンクリート工業株式会社(製造職)	1	1	2
株式会社 ケイホク(製造職)	1	1	2
阿部商事 株式会社(販売)	1	1	2
小計	19	13	32
道内企業	男	女	計
山崎製パン株式会社(生産職)	1	2	3
株式会社 藤井工務店(大工)	1	1	2
北海道旅客鉄道株式会社(鉄道フィールド)	1	1	2
小計	2	3	5

北海道白老高等学校進路指導部
令和5年2月28日現在

道外企業	男	女	計
いわて門崎丑牧場 有限会社	1	1	2
小計	1	0	1
公務員	男	女	計
小計	0	0	0
その他	男	女	計
小計	0	0	0
就職合計	22	16	38

【進学】

大学	男	女	計
室蘭工業大学	1	1	2
北海道医療大学(看護福祉・福祉マネジメント)	1	1	2
小計	1	1	2
短大	男	女	計
北海道武蔵女子短期大学(経済学科)	1	1	2
小計	0	1	1
専門学校	男	女	計
日本工学院北海道専門学校(情報処理・ITコース)	1	1	2
札幌プライダルホテル専門学校(ウエディングプランナー科)	1	1	2
札幌ビューティーアート専門学校(美容科)	2	1	3
北海道情報専門学校(ITシステム学科)	2	2	4
札幌スポーツアンドメディカル専門学校	1	1	2
札幌どうぶつ専門学校(犬の美容)	1	1	2
札幌ファッションデザイン専門学校(ファッション総合学科)	1	1	2
北海道福祉教育専門学校(こども未来学科)	1	1	2
北都保健福祉専門学校	1	1	2
経専北海道どうぶつ専門学校(ペット科トリマー科)	1	1	2
北海道中央調理技術専門学校	1	1	2
札幌ミュージック&ダンス放送専門学校(音楽テクノロジー科)	1	1	2
札幌こども専門学校	1	1	2
札幌ベルエポック美容専門学校(美容科)	1	1	2
アイヌ文化伝承者育成事業	1	1	2
小計	12	6	18
看護学校	男	女	計
北海道看護専門学校	0	1	1
小計	0	1	1
進学合計	13	9	22

【就職】

進路指導部より 今年度の進路状況を 振り返って

コロナの影響がありながらも、今年度は早くから精力的に動いたおかげであらゆる面で円滑に進んだ年でもありました。その背景には早くからの履歴書作成の練習や志望先を決めたらとにかく企業見学に行く、という点を挙げられます。そこからたとえ失敗したとしても、すぐ次の候補を選定し受験するとい

う形を作ることができました。往々にして自分が受験しようとする先しか見学しない傾向がありましたが、今年はそれにとどまらず候補とした企業の見学を働きかけた結果だと思っています。今年度の就職希望者は全体の七割ほどでしたが、結果としてはほぼ100%の内定率となりました。そこそこ数年就業状況が好調なこともある上で、本校の取り組みや啓蒙が功を奏した形となったと考えております。もちろん企業見学はミスマッチを防ぎたい企業側の要望もあるのですが、何より比較検討の材料にもなりますので、今後もこの形は継続指導していきたいと考えています。また、好調な就職状況としては管内の就職者倍率が2.11で昨年度より更に0.15ポイント上回っています。

(就職希望者1000人に対し211件の求人がある状態)このことから、一度失敗してもめげずに挑戦すればチャンスは必ずある、といえます。ですが、依然として接客、事務系の求人は少なく、製造、技能系の求人は増加傾向にあるといってもインフラの整備不足も手伝って、女子生徒にとっては多難な状況であることに大きな変化はありません。そのような傾向を早くから掴み、積極的に資格取得、検定に挑戦するなどして有利に動いていくことをこねまできてもよいかもしれません。いずれにしても、求人票が来てから初めて動き出すのではなく、それまでの時間を有効に使い、準備を進めていくことが必要だと思われま

【進学】

進学希望者は数を増やし、全体の三割を超えるほどとなりました。室蘭工業大学を始め4年制大学や指定校制度を利用した短期大学の進学など、久方ぶりに活発な動きを見せた一方、専門学校に関しても、依然として多いAOでの受験、指定校、一般を問わぬ推薦制度を利用した合格決定などがありました。様々な受験形態により進学のチャンスが増え、今後専門的な学習がしたい生徒にとっては良い傾向にあると思います。今年度に関しては早い時期からオープンキャンパスや説明会などに参加しており中には二年生のうちから出掛けたい者もいます。意識を持って自ら動いた結果早い段階で志望校を絞ることができたようでした。ただし、その学校に行けば自動的の望み姿になるわけではありませんが、学校を選ぶだけでなくそこでのどのような目標と方法を頭に描いていく必要があります。

【全体を通して】

今後の進路を考えるとき、何を思い、何を大事にするのか、○年後の自分、を思い描くことだと思います。それに必要なスキルを身につける

編集後記

一日と春の息吹を感じられるようになり、新型コロナウイルス感染の先行きも見え始めたように思われます。この三年間、生徒たちは思うようにならない中、様々な行事において自分たちの可能な限りの努力を続けています。

三月一日には、三十四期生、六十三名を無事に送り出すことができました。これも各ご家庭のご理解とご協力のおかげと感謝申し上げます。この生徒たちが白老高校の卒業生として社会にしっかりと根をおろし、大輪の花を咲かせてくれることを期待しています。

ため進学した方が良いのか、いち早く社会になじんで行く方が良いのか、またはお金を貯めるために一旦は就職するがその後学校で学びたいのか。就職・進学ともにどちらが良いとかではなく、自身の価値観によつて決めていくべきだと思えます。そのためには自己理解が必要で、毎日の勉強だけでなくしっかりと準備してほしいと思います。